



第1回目の山田市議の土地問題裁判 2月14日報告

裁判所前に120人の仲間が集まり、抗議の声をあげました。裁判終了後、弁護士会館で裁判の報告、そして発足式を行いました。



地方自治に民主主義を求める会の代表吉田と事務局長の沓澤よりご挨拶させて頂きました。

多数入会をいただき地方自治に民主主義を求める会は無事に発足しました！

裁判終了後の報告会では、河村弁護士からの丁寧な解説と、山田市議からの裁判の意見陳述再読が行われました。

裁判傍聴の感想



岡宮在住 佐藤さん 会社員

少々覇気の無いように見受けられた沼津市側の弁護人に対して、山田市議本人の陳述は、はっきり正々堂々と、土地問題の経緯のみならず、提訴は公共事業に協力した父の思いを踏みにじる非道、物言う少数派議員へのいじめ、それでも私は話し合いを求めるといふ、相手側よりも一歩上の主張でした。裁判長が「今後論点をまとめましょう」と最後に言われたのが印象的でした。

提訴というある種の喧嘩をしかけた頼重沼津市長本人は裁判に出廷せず、記者会見にも顔を出しませんでした。リーダーとしても卑怯ではないだろうかと感じました。その会見で建設部長は「管理不足は否めない」と認めました。

次回は4月17日。The wind of democracy blows.

暖かな4月には、春の沼津に民主主義の風が心地良く吹くことを願います。



第一校区在住 二児の父

裁判が開廷すると裁判官が原告と被告双方の提出した書類について確認をしてから、山下さんが自席から立って裁判官に正対し、被告人として所見を淡々と述べました。次回の公判の日程を決めて、閉廷するまで30分足らず、あっという間です。

しかしこの空間で人が法律によって賠償を求められ、あるいは罪を問われ、権力によって裁かれるわけで、場は自然と緊張感を帯びます。山下さんの発言からはこの裁判に勝つという意気込みではなく、なぜこのような裁判にお金と時間が使われねばならないのかという悲しみを感じました。裁判官も原告も弁護士も、法廷の中の誰も、この裁判をやりたくなさそうでした。「壮大な不毛」を見た、という思いです。

しかしこの空間で人が法律によって賠償を求められ、あるいは罪を問われ、権力によって裁かれるわけで、場は自然と緊張感を帯びます。山下さんの発言からはこの裁判に勝つという意気込みではなく、なぜこのような裁判にお金と時間が使われねばならないのかという悲しみを感じました。裁判官も原告も弁護士も、法廷の中の誰も、この裁判をやりたくなさそうでした。「壮大な不毛」を見た、という思いです。

原在住 植松盛彦さん

私自身は、この問題は明らかに市側の登記し忘れという怠慢により起きたと認識していましたので、市側がどのような主張をするのか興味を抱いていました。

配布された資料を読み、さらに山田市議と弁護士の意見陳述を聞き、市側が主張する「不当利得」は成立しないと確信しました。同時に、沼津市はもちろん、訴訟を市長に促した大多数の“山田市議苛めに躍起の市議会議員たち”の“品性のなさ”を広く世に知らしめるものに他ならないと感じました。

何故なら、売買に関わる精算内訳や議員全体会議での市側の答弁などから、時効が成立していることが明らかだからです。

今はただ、沼津市が反山下派議員の主張に流されずに自立した認識を持ち、くだらない判り切ったこの裁判の一日も早い結審と税金の浪費を止めることを願っています。(沼津朝日掲載文より一部転載)

市民の命を危険に晒す ごみ回収事業 片浜地区

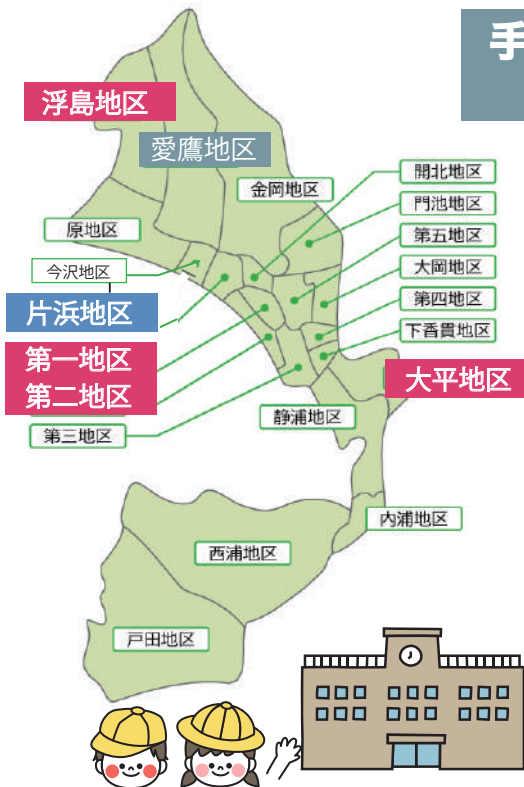
松長在住 沓澤さん

今年1月15日に地元地区でごみ回収場所の管理当番を引き受けてくださっていた33歳の息子さんと64歳のお母さんがひき逃げに会いお亡くなりになるという痛ましい事故が起きました。狭い県道で真っ暗な朝5時からの作業中の事故です。

この事件に関して沼津市は責任を負わず、今後の対応についても、松長自治会に丸投げをされていて、市のごみ回収制度の改善や市長からの真摯な対応は見られません。

税金を払っている市民が危険な状況での管理負担を強制され、大きな事故があったにもかかわらず無責任な対応しかしない沼津市には地域から苦言を呈しつつ、市による大幅な条件改善を実現させて頂きたいと思っています。

市内各地から届いている沼津市の問題



手術できない市立病院 愛鷹地区

東椎路在住 磯崎さん

昨年8月に市立病院に外科手術のため入院しましたが、手術当日にまさかの手術不可能と言われ、急遽内科医師から富士宮市立病院の医師に手術の手配をしてもらい自費でタクシーに乗って富士宮市に行きました。

そこでは執刀医ほか担当医、ナース、栄養士など担当チームが揃った対応説明があり、すごく安心して手術を受けることができ、無事に退院しました。

当日の手術キャンセルする外科医の対応には呆れますし、命に関わってきます。

その他にも骨髄検査のできる医師がいないことも私の持病の関係でわかりました。

沼津市民の命を守るためもっと市立病院の質をあげてください。

そのためにも市民からもっと改善の声をあげるべく知り合いにいつも伝えています。

小中学校の統合問題について 浮島・第一第二・大平地区

生徒数の減少に伴い適正化の見直しが行われています。

各区で住民と行政による検討が始まりましたが、過去の話し合い過程において、意見を主張する市民に対し副市長が暴力的な対応をとったこともあり、市側の、市民の意思を聞く姿勢が問われています。学校は被災時の避難所や、地域の交流の場としての機能も備えています。子どもの教育環境を考えると同時に、地域住民の生活や安全、まちづくりにも配慮することが望まれています。

土地問題裁判スケジュール

4月17日(水) 午前9時より
沼津市役所前にて市民アクション

土地問題裁判を傍聴

静岡地方裁判所沼津支部

弁護士報告会・記者会見

裁判終了後弁護士会沼津支部にて



前川喜平さん講演会スタッフ募集

豊かな教育と民主主義を 5・18市民のつどい



場所：沼津市立図書館

4F 視聴覚ホール

日時：5月18日(土)

午後1時15分開場

1:30開始

(終了予定4時)

会場準備、来場者対応など一緒にイベントを運営して下さるスタッフを募集しています。

チラシ配布やSNSでのシェア拡散
当日の進行のサポートなどお願いします。
可能な方は seekersnumazu@gmail.com
までメールをください。お待ちしております。

「地方自治に民主主義を求める会」は HP・Xなどで随時発信をしています

フォロー
お願いします



公式HP



公式Xアカウント

メールマガジンも発信しています。
件名にメルマガ希望と書いて
空メールを送ってください。

代表吉田

地方自治に民主主義を求める会 ニュースレター
2024年3月5日 地方自治に民主主義を求める会発行
連絡先 seekersnumazu@gmail.com 吉田由美子